

しあわせ福井スポーツ協会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、しあわせ福井スポーツ協会（以下「協会」という。）という。

(事務所)

第2条 協会は、事務所を福井県福井市福町3-20 福井県福井運動公園事務所に置く。

第2章 目的および事業

(目的)

第3条 協会は、障がい者スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じて障がい者の社会参加を促進し、もって障がい者福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 障がい者スポーツの普及啓発に関する事業
- (2) 障がい者スポーツの選手育成および競技力向上に関する事業
- (3) 全国障害者スポーツ大会への選手および役員の派遣に関する事業
- (4) 福井県障がい者スポーツ大会の開催に関する事業
- (5) 障がい者スポーツ人材バンクに関する事業
- (6) 障がい者スポーツ指導員の養成に関する事業
- (7) 障がい者スポーツに関する教室等の開催に関する事業
- (8) 障がい者スポーツ関係団体との連絡調整および支援に関する事業
- (9) 障がい者スポーツの振興に係る環境づくりに関する事業
- (10) 障がい者スポーツに関する補助事業および受託事業
- (11) その他、前条の目的を達成するために必要な事業

第3章 役員

(役員の数)

第5条 協会には次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事 15名以内（会長、副会長を含む。）
- (4) 監事 2名

(役員を選任)

第6条 会長は、福井県知事とする。

- 2 理事は、総会で選任する。
- 3 副会長は、理事の中から会長が指名し、理事会の承認を得る。
- 4 監事は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。
- 5 理事および監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第7条 会長は、協会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この協会の事業を決定する。
- 4 監事は、協会の財産および会計ならびに事業執行状況を監査し、これについて不正の事実を認めるときは、理事会に報告する。この場合、理事会の招集を請求しなければならない。

(役員報酬)

第8条 役員は、無給とする。

- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 第2項に関し必要な事項は、会長が定め、理事会の承認を得る。

(役員任期)

第9条 役員任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員は、任期中においても理事会の承認を得て辞任することができる。
- 3 補欠または増員により就任した役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- 4 役員は、任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員解任)

第10条 役員が次の各号の一に該当したときは、前条の規定にかかわらず、理事現在数の3分の2以上の議決により解任することができる。

- (1) 協会の趣旨目的に反する行為が認められたとき。
 - (2) 心身の故障のため職務の執行に堪えられないと認められたとき。
- 2 前項の規定により役員を解任しようとするときは、解任の決議を行う理事会において、議決の前にその役員に弁明の機会を与えなければならない。

第4章 総会

(総会)

第11条 総会は、通常総会および臨時総会とする。

2 総会は、会員をもって構成する。

(総会の権能)

第 12 条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 会則の制定および改廃に関すること。
- (2) 協会の解散に関すること。
- (3) 事業計画および収支予算に関すること。
- (4) 事業報告および収支決算の承認に関すること。
- (5) 理事の選任に関すること。
- (6) その他、協会の運営に関する重要事項。

(総会の開催)

第 13 条 通常総会は、毎事業年度 1 回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当したときに開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、開催の請求をしたとき。
- (2) 会員現在数の 3 分の 1 以上から会議に付議すべき事項を示して開催の請求があったとき。

(総会の招集)

第 14 条 総会は、会長が招集する。

2 会長は、前条第 2 項による請求があったときは、その日から 30 日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的および審議事項を記載した書面または電磁的方法をもって、少なくとも 3 日前までに通知しなければならない。

(総会の議長)

第 15 条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(総会の定足数)

第 16 条 総会は、会員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。

(総会の議決)

第 17 条 総会における議決事項は、この会則に別段の定めがあるものを除くほか、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(欠席者の表決)

第 18 条 会員は、総会に出席できないときは、当該議事につき書面をもって表決することができる。この場合において、第 16 条および第 17 条の規定については、出席したものとみなす。

(総会の議事録)

第 19 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 開催日時および場所
 - (2) 会員総数および出席者数（書面表決者または表決委任者があるときは、その数を付記すること。）
 - (3) 審議事項
 - (4) 議事の経過概要および議決結果
 - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長およびその会議において選任された議事録署名人2名以上が署名（または記名、押印）しなければならない。

第5章 理事会

（理事会）

第20条 理事会は、通常理事会および臨時理事会とする。

- 2 理事会は、会長、副会長、理事をもって構成する。
- 3 監事は、理事会に出席し、意見を述べることができる。

（理事会の権能）

第21条 理事会は、以下の事項について議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項に関すること。
- (2) 総会の議決した事項の執行に関すること。
- (3) 会費の額の決定および会費の減免に関すること。
- (4) その他、総会の議決を要しない協会の運営に関する事項。

（理事会の開催）

第22条 通常理事会は、毎事業年度2回以上開催する。

- 2 臨時理事会は、次の各号の一に該当したときに開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき。
 - (2) 理事の3分の1以上または監事から会議に付議すべき事項を示して開催の請求があったとき。
- 3 会長が必要と認めたときは、理事会に関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

（理事会の招集）

第23条 理事会は、会長が招集する。

（理事会の議長）

第24条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

（理事会の定足数）

第25条 理事会は、理事現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 理事会に出席できない場合に、あらかじめ書面をもって理事会に付議される事項に

ついて表決し、または代理人に委任した者は、出席者とみなす。

(理事会の議決)

第 26 条 理事会における議決事項は、この会則に別段の定めがあるものを除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 会長は、急を要する事項または簡易な事項については、書面をもって賛否を求め、理事会に代えることができる。

(理事会の議事録)

第 27 条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 開催日時および場所

(2) 理事総数および出席者数（第 25 条第 2 項の規定による者があるときは、その数を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過概要および議決結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長およびその会議において選任された議事録署名人 2 名以上が署名（または記名、押印）しなければならない。

第 6 章 専門委員会

(専門委員会の構成等)

第 28 条 第 4 条の事業を遂行するため、次に掲げる専門委員会を置く。

(1) スポーツ振興委員会

(2) 人材育成委員会

(3) 研究委員会

2 専門委員会の運営に関する事項は、別に定める。

第 7 章 会 員

(組 織)

第 29 条 協会は、第 3 条の目的に賛同して入会した、法人、団体および個人（以下「会員」という。）をもって組織する。

(入会および脱会等)

第 30 条 新たに会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、法人および団体にあつては理事会、個人にあつては会長の承認を受けるものとする。

2 会員が脱会しようとするときは、理由を付した脱会届を会長に提出しなければならない。

- 3 第32条第2号に規定する賛助会費を納入した者は、その者の希望するところにより、納入した時から2年を経過するまでの間、次の事項を受けることができる。
- (1) 本会発行の広報紙等の配布
 - (2) その他、会長が認めること
- 4 会長は、協会の会員として不適当と認められた会員があるときは、理事会の承認を得て会員の資格を取り消すことができる。

(会 費)

第31条 会員は、別に定める会費を納めなければならない。

- 2 既納の会費は返還しない。
- 3 会費は、理事会の定めた規程に基づき免除することができる。

第8章 財 務

(財 源)

第32条 協会の経費は、次に掲げる収入をもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 賛助会費
- (3) 補助金、助成金および受託金
- (4) 寄付金
- (5) その他の収入

(事業計画および予算)

第33条 協会の事業計画およびこれに伴う収支予算は、会長が作成し、毎会計年度開始前に、理事会の承認を得なければならない。

(事業報告および決算)

第34条 協会の事業報告および収支決算は、会長が作成し、監事の監査を経て、毎会計年度終了後3か月以内に、理事会および総会の承認を得なければならない。

(特別会計)

第35条 協会は、理事会の議決を経て、特別会計を設けることができる。

(事業年度および会計年度)

第36条 協会の事業年度および会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第9章 事務局

(職員の配置)

第 37 条 協会の事務を処理するため、事務所に常駐職員を若干名配置し、これに充てる。
2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第 10 章 会則の改廃

(会則の改廃)

第 38 条 この会則の改廃は、理事会ならびに総会の議決を要するものとする。

第 11 章 解 散

(解 散)

第 39 条 協会は、次の事由により解散する。

- (1) 総会において、会員現在数の 3 分の 2 以上が解散を議決したとき。
- (2) 第 3 条の目的を達成し得なくなったとき。

(残余財産の帰属)

第 40 条 協会が解散したときの残余財産は、総会の議決を得て、協会と類似の目的をもつ団体に寄与するものとする。

第 12 章 補 則

(補 則)

第 41 条 この会則に定めるもののほか、協会の運営に関し必要な事項は、理事会の承認を得て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この会則は、平成 26 年 4 月 28 日から施行する。
- 2 この協会の設立時の会員は、別表のとおりとする。
- 3 この協会の設立当初の役員の任期は、第 9 条第 1 項の規定にかかわらず、平成 29 年 6 月 30 日までとする。
- 4 この協会の設立年次の事業年度および会計年度は、第 36 条の規定にかかわらず、設立総会の日から平成 27 年 3 月 31 日までとする。

しあわせ福井スポーツ協会 理事

〔任期：令和5年7月1日～令和8年6月30日〕

役職	分野	団体等名称	役職・氏名 (敬称略)
会長		福井県	知事 杉本達治
副会長	福祉	一般社団法人 福井県身体障害者福祉連合会	会長 橋本輝男
〃	医療	公益財団法人 福井県スポーツ協会 スポーツ医・科学委員会	委員長 林正岳
〃	行政	福井県 交流文化部 文化・スポーツ局	局長 猪嶋宏記
理事		福井県 健康福祉部	副部長 竹内宏治
〃	福祉	特定非営利活動法人 福井県手をつなぐ育成会	常務理事 日向明世
〃		福井県精神保健福祉家族会連合会	会長 小寺清隆
〃		福井県身体障害者(児)援護施設 連絡協議会	代表 角野永昭
〃		福井県知的障害者福祉協会	会長 高村昌裕
〃	教育	福井県特別支援学校長会	代表 田上博一
〃		福井県立盲学校	校長 杉本浩一
〃		福井県立ろう学校	校長 川畑順一
〃	スポーツ	福井県障がい者スポーツ指導者協議会	会長 粒崎幸夫
〃		公益財団法人 福井県スポーツ協会	専務理事 南部則雄
〃		障がい者スポーツ選手代表	西島美保子
		計 15 団体・名	

しあわせ福井スポーツ協会 監事

団体等名称	役職・氏名 (敬称略)
社会福祉法人 福井県社会福祉協議会	専務理事 土屋秀樹
福井市 福祉部	部長 小寺正樹